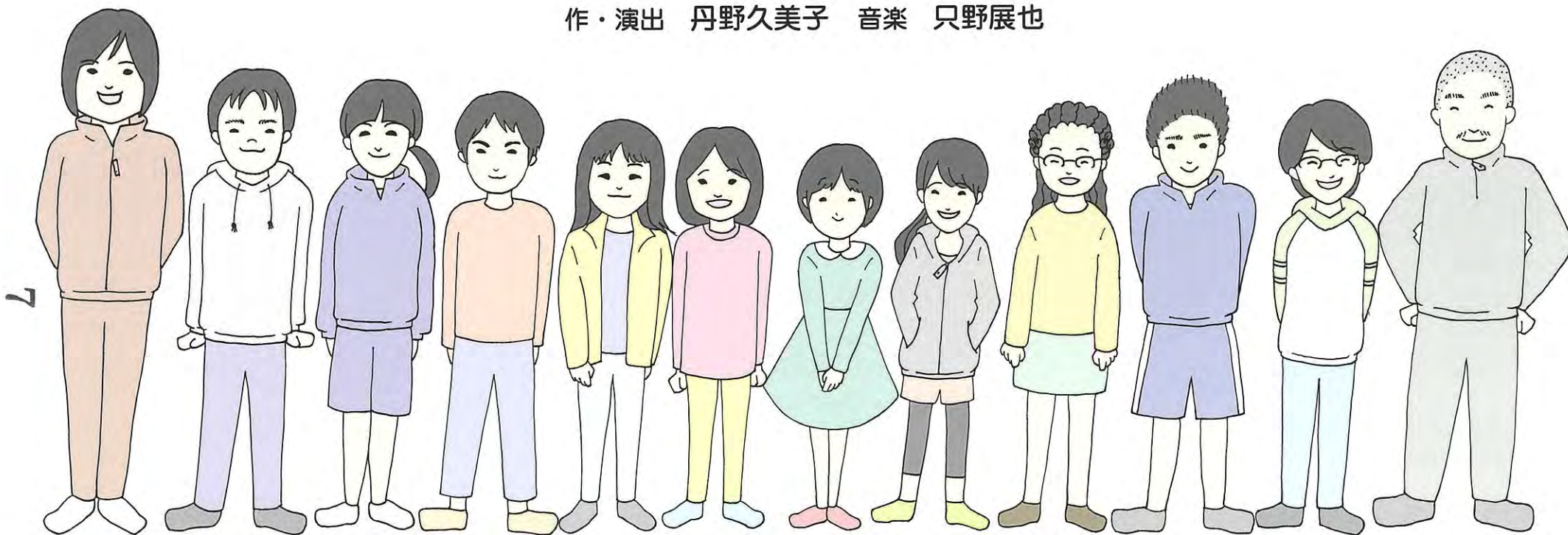


塩竈市遊ホール市民参加企画  
塩竈夢ミュージカル

おとなは、だれも、はじめは子どもだった

# 星の子と<sup>★</sup>も

作・演出 丹野久美子 音楽 只野展也



## ★日時

2018年

2月17日(土)

午後2時開演・午後6時開演

2月18日(日)

午前11時開演・午後3時開演

## ★会場

塩竈市遊ホール  
(壱番館5階)

## ★料金

一般 1,500円(当日1,800円)  
高校生以下 800円(当日1,100円)

主催 塩竈市遊ホール協会 後援 マリネット・BAY WAVE78.1

協賛 山寺宏一(声優・塩竈一中出身)・一般社団法人みやぎびっきの会

## スタッフ

作・演出  
丹野久美子 (劇団I.Q150)

音楽  
只野 展也

舞台監督  
高橋 裕介 (劇団I.Q150)

演出補助  
劇団I.Q150

音響  
緒方 晴英 (コルチパレ)

照明  
関 紀子

三浦 優香

イラスト  
Office YUI

宣伝写真  
佐々木信行 (有限会社センダイ)

宣伝美術  
星川 律子 (劇団I.Q150)

プロデューサー  
菅野 政子 (菅野音楽教室)

塩竈市遊ホール市民参加企画  
塩竈夢ミュージカル

# 星の子ども



出演・制作スタッフ 演劇と音楽とダンスが大好きな塩竈市民

## ゲスト出演

藤原 貢  
オッチャン (ダンサー)

ダンスサポート  
阿部 彰大 / 駒木 音哉  
(ARMZ Fam・Shock Storm)

日時 2018年

2月17日(土) 午後2時開演 / 午後6時開演

2月18日(日) 午前11時開演 / 午後3時開演

※開場は開演の30分前です。

※ご予約のチケットは、開演の1時間前から会場受付でお受け取りいただけます。

## 会場

塩竈市遊ホール (壱番館5階)

JR仙石線本塩釜駅から徒歩3分

## 料金

一般 1,500円 (当日1,800円)

高校生以下 800円 (当日1,100円)

※満席の場合は当日券を発行しないことがありますのでご了承ください。

※未就学児もお席が必要な場合はチケットをご購入ください。

## プレイガイド

【塩竈市ほか】

松尾カメラ・メロディーズ・フジサキスポーツ

美容室マサヒコ・喫茶ノンノン・金犬くん利府店

しおがま まちの駅・ヤマザキショップ塩釜すすきや店

塩竈市遊ホール協会 (壱番館4階)

【仙台市】 仙台三越

検索ワード

ブログ・HP

しおがまゆめ

検索

ローソンチケット Lコード: 21787

チケットぴあ Pコード: 483-562

お問合せ 塩竈市遊ホール協会

TEL 022-365-5000

〒985-0052 宮城県塩竈市本町1番1号(壱番館4階)

ケーブルテレビ マリネット

【コミュニティチャンネル】

で過去5作品の再放送が決定!(2018年放送)

■「海に浮かぶ月」(2013年) 1月16日(火) 昼12時~ ■「ヒトリという名の鳥は、淋しいと鳴く」(2014年) 1月27日(土) 午後1時~

■「遠い日の忘れもの」(2015年) 1月28日(日) 午前11時30分~ ■「アブラゲとアップルパイ」(2016年) 2月上~中旬

■「ふらこの夢」(2017年) 2月上~中旬 ※放映日が決まり次第、塩竈夢ミュージカルブログでお知らせします。

一般社団法人

## みやびびっきの会

〈事務局〉

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合3丁目6番3合

(TEL)022-302-3085 (FAX)022-302-3086

〈ホームページ〉<http://bikkifund.net/> 〈E-mail〉[bikki@bikkifund.net](mailto:bikki@bikkifund.net)

大切なものって、いったいなんだろう。

作・演出 丹野久美子

一森山小学校6年2組は、男子が3人、女子が7人。小学生最後の学習発表会に、みんなで劇をすることになりました。その演目を決めるにあたり、男子と女子との意見はまとまりません。多数決なら女子に負けてしまいます。それでも女子は強いのです。男子は、いつものことだとあきらめムード。その時、ユウキが勇気をだして手を挙げました。「あのさ、やりたいものがあるんだけど」。

ユウキには気になる一冊の本がありました。9年前に事故で亡くなったおにいちゃんの思い出の中に入っていた「星の王子さま」です。まだ3才だったユウキはおにいちゃんのことをほとんどおぼえていません。でも何回目かのお墓まいりの後、家に帰っておかあさんが「おにいちゃん、星の王子さまだったのよ……」と言って、この本のページをめくって泣いていたことをぼんやり覚えていました。

6年生の個性豊かな10人が体験する不思議な世界を、オリジナルの歌や踊りを散りばめてお届けする夢ミュージカル。子どもたちの素朴な疑問。言葉にできない感情。大切なものって、いったいなんなんだろう。

どうぞ、思い出してください。

「おとなは、だれも、はじめは子どもだった」

作・演出家プロフィール

丹野久美子 (たんのくみこ)

■仙台市出身。1979年に劇団I.Q150を結成。以来、作家・演出家・女優として活躍。パルテノン多摩小劇場フェスティバル優勝、下北沢演劇祭・愛知県芸術劇場フェスティバル招聘など全国で活動。

■1991年に宮城県芸術選奨新人賞を、1998年に宮城県芸術選奨を受賞。

■2008年から「塩竈夢ミュージカル」の作・演出を手掛け、今回で11年目。



“The show must go on”

演劇の世界等で良く使われる言葉で、「いったん幕が開いたら、どんな事があってもショー(舞台)を続けなければならない」という意味です。だからこそ、恐いし、緊張するし、しっかり稽古をしなければならぬのです。そしてその先には、達成感等たくさんのご褒美が待っています。

もはや塩竈の風物詩になりつつある「夢ミュージカル」は、市民がそんな素敵な体験を出来る貴重な活動です。でも、それはお客様に観て喜んで頂かなければ成立しません。

是非とも「塩竈愛」に溢れたこのショーを楽しんで下さい。

塩竈夢ミュージカル応援団 / しおがま文化大使 山寺 宏一